

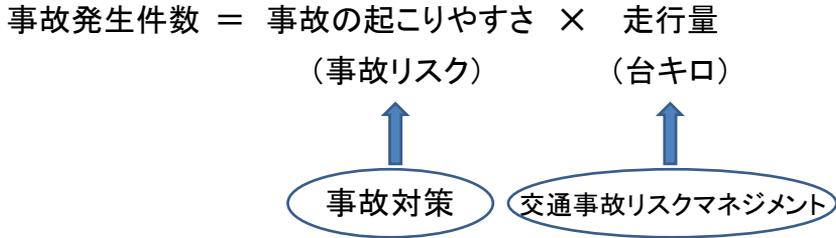
## これからの交通事故リスクマネジメント

交通工学ワンデーセミナー、土木計画学ワンデーセミナー「第82回」 H29.3.2

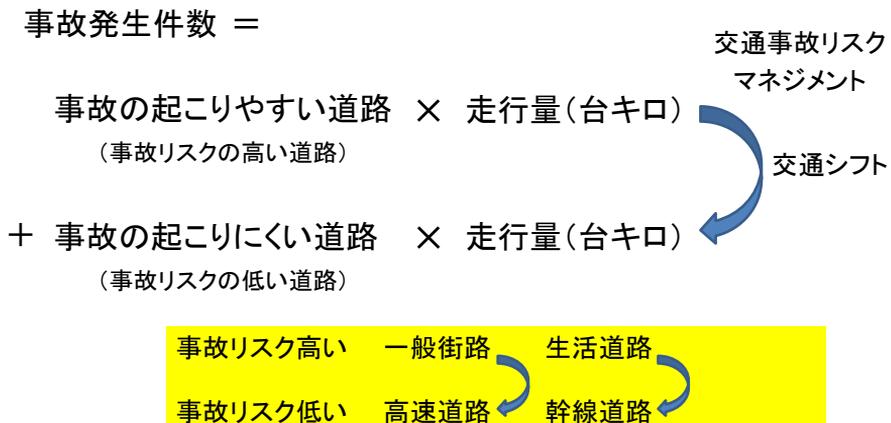
## 本日のプログラム

- 10:00～10:10 開会
- 10:10～11:10 自主研究による研究成果報告(高速道路会社における事故リスクマネジメント)
- ・首都高速道路における事故リスクマネジメントに関する研究 吉尾 泰輝(首都高速道路(株))
  - ・阪神高速における事故リスクデータの構築と活用について 岩里 泰幸(阪神高速道路(株))
  - ・福岡高速道路における利用頻度からみる事故傾向とその活用の検討 白石 元紀(福岡北九州高速道路公社)
- 11:10～11:50 自主研究による研究成果報告(事故リスクマネジメントに関する研究(その1))
- ・人・道路・車両の暴露度指標を活用した交通事故率の分析 萩田 賢司(自動車安全運転センター)
  - ・生活道路における交通事故リスク分析に向けた基礎的研究 平岡 雄介(松山河川国道事務所)
  - ・リアルタイム事故リスク情報提供システムの構築 大藤 武彦(株)交通システム研究所)
  - ・新潟都市圏における事故リスクマネジメント研究の進捗と今後の展開 西内 裕晶(高知工科大学)
- 12:50～14:10 自主研究による研究成果報告(事故リスクマネジメントに関する研究(その2))
- ・都市高速道路におけるリアルタイム交通事故予測・回避モデルの開発 室町 泰徳(東京工業大学)
  - ・ベジアンネットワークを用いた都市高速道路における交通事故要因の抽出 倉内 文孝(岐阜大学)
  - ・事故リスク情報の提供がドライバーの行動に及ぼす影響の分析 倉内 慎也(愛媛大学)
  - ・施設構造などからみた逆走の要因分析 浜岡 秀勝(秋田大学)
  - ・細街路エリアにおける事故リスク要因の分析 塩見 康博(立命館大学)
  - ・一般道路における時間帯交通量別交通事故リスク分析 兵頭 知(日本大学)
- 14:10～14:40 高齢社会の自動車利用実態とモビリティの確保
- ・高齢社会における自動車利用実態に関する分析ー静岡都市圏を対象にー 中村 俊之(京都大学)
  - ・高齢社会におけるモビリティ確保に向けた課題 宇野 伸宏(京都大学)
- 15:00～15:45(講演1) 交通心理学からみた事故リスクマネジメントの可能性 蓮花 一己(塚澤山大学)
- 15:45～16:30(講演2) 交通事故リスクマネジメントの技術的可能性と社会的課題 赤羽 弘和(千葉工業大学)
- 16:40～17:40 パネルディスカッション
- 17:40-17:45 閉会

## 交通事故リスクマネジメントとは



## 交通事故リスクマネジメントとは



## 交通事故リスクマネジメントとは

年間交通量: 1,000万台

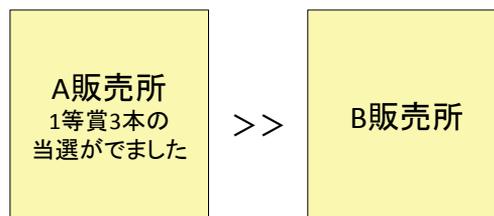


1,000万台すべてが高速道路を利用すれば、事故件数は最小の10回  
 1,000万台すべてが一般国道を利用すれば、事故件数は最大の100回  
 全交通を高速道路に誘導するのが最善の交通事故リスクマネジメント

しかし、現実には、交通流状態や運転者によって事故リスクが変化する  
 人間は**事故の起こりやすさ**よりも**事故発生件数に反応**する???

## 交通事故リスクマネジメントとは

宝くじ売り場では...



当たる確率は同じでも、不思議とA販売所にのみ行列ができる。

## 交通事故リスクマネジメントとは

1,000万台すべてが高速道路を利用すれば、



高速道路よりも一般国道の方が安全と思われることになる...

交通管理者/道路管理者は道路ネットワーク全体を俯瞰できるが、  
道路利用者は、道路ネットワーク全体を俯瞰することができない。

交通管理者/道路管理者にとっての価値ある情報と、  
道路利用者が受け取って価値ある情報は異なったものとなる。

## 交通事故リスクマネジメントとは

